

教科	国語科	学 年	2 年	時間数	5 / 週
使用教科書	新編 新しい国語 2 (東京書籍) 中学書写 (教育出版)				
副 教 材	国語の便覧 (正進社) 国語の学習 2 (明治図書) 学習漢字ノート (浜島書店) 役立つ文法 (正進社) 整理と対策 (明治図書)				
学習の目標					
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>					
評価基準					
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
評価の仕方	評価方法・基準 定期テストと、授業や学習課題への取り組みを中心に総合的に評価する。				

教科書	単元	各月における進捗予定											
		1学期				2学期				3学期			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	「未来へ」 谷川俊太郎	●											
	「あの夕暮れへ帰る」 原田マハ	●											
1 言葉を感じる	「短歌を楽しむ／短歌五首」 道浦母都子				●								
	短歌の創作					●							
	同訓異字	●											
	活用のない自立語	●											
2 作品を読み解く	「足跡」 瀧羽麻子		●										
	異なる考えの聞き方／意見と根拠の聞き方		●										
	敬語		●										
	漢字の意味										●		
3 伝え方を工夫する	「ネコだって推理できる」 高木佐保			●									
	情報の関係の表し方			●									
	「地域の魅力」の紹介文		●										
	類義語・対義語・多義語			●									
	インターネット・新聞の活用					●							
	「鏝節—世界に誇る伝統食」 小泉武夫								●				
4 思いを深める	「字のない葉書」 向田邦子							●					
	人物像								●				
	依頼状とお礼状							●					
	熟語の構成・熟字訓							●					
	活用のある自立語	●											
5 説得力を高める	「黄金の扇風機」 田中真知							●					
	「サハラ砂漠の茶会」 千住博							●					
	意見と根拠の吟味								●				
	「地図」の意見文											●	
	同音異義語									●			
	「落葉松」 北原白秋								●				
6 伝統文化を味わう	枕草子		●										
	徒然草			●									
	平家物語									●			
	漢詩								●				
	話し言葉と書き言葉								●				
	紛らわしい漢字									●			
7 表現を考える	「『正しい』言葉は信じられるか」 香西秀信											●	
	具体と抽象／プレゼンテーション									●			
	他教科で学ぶ漢字(1)									●			
	メディアの垣根を越えて／ビブリオバトル									●			
8 描写を味わう	「走れメロス」 太宰治									●			
	短歌から始まる物語				●								
	リンクマップによる話し合い					●							●
	助詞・助動詞			●				●					
	他教科で学ぶ漢字(2)										●		
	「わたしが一番きれいだったとき」 茨木のり子												●
	「共有地の悲劇」 伊勢武史											●	
	「無理なくできることから」 田中直樹												●
	「坊っちゃん」 夏目漱石											●	
	「カメレオン」 アント・フェーボ／原卓也・訳				●								
	「スズメは本当に減っているか」 三上修				●								
	「書き手の肖像—清少納言と兼好法師」 中野貴文			●									
	「望郷の詩—杜甫と李白」 川合康三									●			
行書で書こう	点画の省略「白雲」								●				
	筆順の変化「深緑」								●				
	下野教育書道展				●								
	書き初めを書く										●		